



## EICMA 2019

2019年11月5日

### ボッシュが形作るモーターサイクル&パワースポーツの未来

- ▶ 次世代ディスプレイ: スクリーンの拡張化とフレームの小型化により、視認性が向上
- ▶ アドバンスド ライダー アシスタンス システム: 安全性と走行快適性が向上
- ▶ パワートレインソリューション: 温室効果ガスの排出量削減に貢献する最新のテクノロジー

ミラノ- モーターサイクリングは情熱、ダイナミクス、そしてスピードです。それはまた、ライディング特有の喜びと解放感をもたらします。ボッシュは、ライディングの喜びはそのままに、安全でありながらエキサイティング、また可能な限り温室効果ガスを排出しない、未来の二輪車とパワースポーツ車両のあり方を体現する革新的なソリューションを提案します。ボッシュのブースはホール 13、ブース G55 です。

#### ネットワーク化: ライディングにおける安全技術の進歩は次のステップへ

ボッシュは、二輪車とパワースポーツ車両が、車両内部と外の世界のどちらともつながることを可能にするテクノロジーを提供します。スマートに接続することが可能なオンボードシステムは、ライダー自身ならびに二輪車の安全性向上をアシストします。ライダーは、ボッシュのネットワーク化ソリューションを使用することで、二輪車やパワースポーツ車両の走行中にデジタル情報やエンターテインメントへアクセスできない状況に耐える必要はもはやありません。

#### インテグレートド コネクティビティ クラスター (6.5 インチ フレームレス)

ボッシュは、EICMA 2019 に次世代インテグレートド コネクティビティ クラスター (6.5 インチ フレームレス) を世界初出展します。その最大の特徴は、テールテール(警告灯)を TFT 画面に統合し、クラスターのサイズを最適化したことです。これにより、ディスプレイとフレームの比率が改善し、TFT 画面がより大きくなります。このシームレスな新設計によりパッケージングの小型化が実現し、搭載性が向上するため、さまざまなタイプの二輪車モデルへ搭載することが可能となります。ボッシュのインテグレートド コネクティビティ クラスターは、従来の計器類と幅広いインフォテインメント機能を単一のデバイスにまとめたもので、ディスプレイにはオプティカルボンディング技術と反射防止コーティングが採用されて

おり、どのような天候下でもクリアで視認性の高い画面となっています。雨天時や直射日光が当たる状況、また暗闇の中でも鮮明な色でくっきりと表示されます。

mySPINにより、容易につながる事が可能に:

mySPINを使用することにより、クラスターディスプレイを通じて、スマートフォンのコンテンツをモーターサイクル、スクーター、もしくはパワースポーツ車両からアクセスすることが可能となります。mySPINはオープンプラットフォームを提供するソリューションであり、全ての車両メーカーが幅広い選択肢を持つことができます。このシステムは容易に使用することができ、無線 LAN、Bluetooth、または USB によってスマートフォンと接続するとすぐに、多くの種類のアプリを車両のディスプレイ上で使用することができます。

**セーフティ: Accident-free (交通事故のない)なモーターサイクリングの実現に向けて**  
二輪車における安全技術の世界的なリーディングサプライヤーとして、ポッシュは既に ABS やモーターサイクル用スタビリティコントロール(MSC)といったセーフティシステムにより、二輪車の安全性を大幅に向上させることに貢献しています。現在、ポッシュはアドバンスド ライダー アシスタンス システムにより、accident-free (交通事故のない)なモーターサイクリングの実現に向け、さらなる一歩を踏み出しています。ポッシュの事故調査部門の試算によると、レーダーベースのアシスタンスシステムを装備すれば、二輪車事故の 7 分の 1 を防ぐことができるとされています。このような電子制御式アシスタンスシステムは周囲を常にモニターし、緊急時には人間よりも迅速に対応することが可能です。

モーターサイクル用スタビリティコントロール(MSC):

ポッシュは世界初の二輪車向け「オール イン ワン」型セーフティシステムを開発しました。モーターサイクル用スタビリティコントロール(MSC)は、2013 年より二輪車ライダーの安全性を高めてきました。MSC は、危険なローサイドの状況下でライダーをアシストするだけでなく、コーナーでのブレーキング時にも瞬時に対応します。これにより、走行安定性とブレーキ性能の両方が向上します。ポッシュの MSC は、電動二輪車として初めて「Zero SR/F」に採用されました。この事実は、電動二輪車を含むさまざまなタイプの車両でセーフティシステムの需要が増加していること、またポッシュの MSC はすべてのライダーの安全性向上に貢献していることを示しています。

パワースポーツ車両向けセミアクティブ ダンピング コントロール システム:

パワースポーツ車両向けセミアクティブ ダンピング コントロール システムは、ドライビングの安全性、走行快適性、ダイナミクスを向上させます。このセミアクティブ ダンピング コントロール システムを搭載した車両には、路面状況を常時モニターするための複数のセンサーが組み込まれており、ほぼ瞬時に調整が行われます。これらのセンサーの働きにより、特にオフロード走行時の安定性が向上します。ドライバーは、ボタンを押すだけでサスペンションの設定を好みに合わせて選択、調整することができます。セミ

アクティブダンピングコントロールシステムは、ダンパーアクチュエーターを調整して振動を低減することで、車両の安定性だけでなく走行快適性も向上させます。

#### アドバンストライダーアシスタンスシステム:

アドバンストライダーアシスタンスシステムは、アダプティブクルーズコントロール(ACC)、衝突予知警報、死角検知の3つの機能を備え、二輪車ライダーの安全性と走行快適性を高めます。これらのシステムを支えているのは、レーダーセンサー、ブレーキシステム、エンジン制御システムとHMI(ヒューマンマシンインタフェース)を組み合わせた技術です。レーダーが感覚器官として機能することで、車両の周囲の状況を正確に把握できるようになり、ライディングの楽しさを損なうことなく走行時の安全性と快適性を高めます。ポッシュのアドバンストライダーアシスタンスシステムは2020年から量産が開始し、二輪車メーカーDucati、KTMのモデルに搭載される予定です。また、このシステムはカワサキのモデルにも採用され、2021年から量産を開始することが決定しました。

#### **パワートレイン: 温室効果ガスの排出量削減に貢献する最新のテクノロジー**

都市部におけるモビリティが大きな課題に直面していることを受け、ポッシュは温室効果ガスの排出レベル削減に尽力する車両メーカーを支援し、大気環境の改善に貢献するために、非常に効率的なパワートレインソリューションを開発しています。ポッシュのテクノロジーを搭載した小型電動車両はすでに市場に投入されています。静音性や省資源化に加え、高度なテクノロジー、高い操作性、優れたダイナミクスといった利点も備えており、最高に楽しいライディングを実現します。

#### 小型eモビリティ向けシステムソリューション:

ポッシュはEICMA 2019で、2つの小型電動車両向けの革新的なシステムアプローチを紹介します。リーンなドライブシステムと包括的な統合システムです。ドライブシステムは、エレクトリックドライブユニットとコントロールユニットで構成されます。これらのコンポーネントは、さまざまなエネルギー制御ソリューションを搭載した車両に簡単に統合することが可能であり、ライダーはスムーズかつ効率性に優れたライディング経験を体感できます。一方、統合システムはお客様のニーズに応じて適合させることができる包括的なソリューションです。このシステムは、ドライブユニット、コントロールユニット、バッテリーソリューションで構成され、さらにお客様の要望に応じてさまざまなネットワーク化機能を追加することが可能です。このシステムは、コンポーネントの搭載数を調整することでさまざまな出力クラスの小型電動車両へ柔軟に適用可能であり、また車両メーカーによる開発のための労力の削減に貢献するなど、幅広い車両メーカーのニーズに応えるものとなっています。2つのシステムアプローチにより、ポッシュは、高性能、高信頼性といった価値だけでなく、貨物輸送やラストマイル配送などのユースケースを含む産業界の需要を満たす独自のライディング経験を提供可能です。この統合システムの搭載車として、EICMA 2019ではNuuk Trackerモデルを展示予定です。

## エンジン制御システム:

ボッシュのエンジン制御システムは、OBD I/IIを含む Euro 5 や BS 6(バラートステージ 6)など、近い将来の適用が予定されている二輪車の排出ガス規制を満たすことを求められる二輪車メーカーをサポートします。センサー技術と組み合わせることで、エンジン制御システムは従来のキャブレターシステムと比較して大幅な高効率化を実現します。

## 報道関係対応窓口:

Joern Ebberg; phone +49(711)811-26223

Gabriele Aimone Cat; phone +39(02)3696-2613

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2018 年の売上高は 476 億ユーロで、総売上高の 61%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズ事業は、Accident-free (交通事故のない)、Emissions-free (排気ガスのない)、魅力的なモビリティを目指し、自動化、電動化、ネットワーク化の領域においてグループ全域にわたる知見を結集させ、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー/パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバー アシスタンス システム/自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-Vehicle (車車間)および Vehicle-to-Infrastructure (路車間)通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト/テクノロジー/サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC (エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

## 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2018 年の従業員数は約 41 万人 (2018 年 12 月 31 日現在)、決算報告での売上高は 785 億ユーロ (約 10 兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 460 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 130 の拠点で約 6 万 8,700 人の従業員が研究開発に携わっています。

\*2018 年の為替平均レート、1 ユーロ=130.92534 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)